



学校だより

令和2年度小川中学校

令和3年3月2日 発行

NO, 12 文責:小林 浩一

< 2月10日 (水) 校長講話より >



令和2年度、最後の校長講話となりました。今まで一年間、つたない話でしたが一生懸命聴いてくれてありがとうございました。三年生の前での校長講話が今日で最後かと思うと、何か寂しいですね。

今年の一月初日、元旦。こんな新聞広告があることを知りました。レシートの上には「レシートは、希望のリストになった」と書かれています。レシートの下には「わたしは、私」と書かれています。そごう・西武百貨店の、新聞一面を使った広告なんです。

拡大して見てみましょう。「2020年6月から11月の、そごう・西武対象店舗・売り場での販売実績です」と書かれています。6ヶ月間で何がどれくらい売れたのでしょうか。「スーツケース 662個、口紅 76175本、浴衣 475着、ハイヒール 1001足、ベビーギフト 566個」

何のことでしょうか。この広告は何を伝えたいのでしょうか。次のページを見て分かりました。読み上げてみます。

新型コロナウイルスで行動が制限された2020年。それでも、自由に旅行できる日のために662人のお客さまが、スーツケースを購入された。

マスクの下でもメイクを楽しみたい76, 175人のお客さまが、口紅を購入された。

夏祭りは中止だったけど、浴衣は475着。

颯爽と街を歩く日を待ちながら、お求めになったハイヒールは1, 001足。

生まれてくる命を、566セットのベビーギフトが全力で祝福した。

足踏みばかりの日々であっても、一人ひとりの「私」は、今日を楽しむ工夫を続けた。お買い物の記録に教えられた、大切なこと。百貨店が売れるのも、お客さまが欲しいのも、ただのモノではないということ。

百貨店が売っていたのは、希望でした。

という新聞に掲載された広告でした。何か元旦から希望が湧くような、明日が明るくなるような、心の中が温くなるものに出会いました。

考えてみると、私たちの生活も、「希望」に溢れているなと思います。

一年生が新入生説明会を行ってくれました。学校生活全般について、小学校六年生に念入りに準備を行い、工夫を凝らして説明してくれました。六年生は誰一人下を向かず、隣の人と話すこともなく、前を向いて集中して聴いていました。一年生の発表は六年生の気持ちを引きつける素晴らしいものでした。一年生は、小学校六年生に中学校生活への「希望」を伝えてくれました。

二年生が職場体験学習について全校に発表してくれました。自分の体験したことを伝えたい、という思いを感じました。堂々とした発表ぶりでした。生徒集会での発表も落ち着いた表情で、丁寧に伝えてくれています。きっと三年生も安心して見守ってくれているのではないのでしょうか。働くことを考えると、皆さんの未来への「希望」です。生徒会活動とは、それ自体が学校生活への「希望」です。

三年生の顔つきが日に日に大人びてきました。面接練習で、自己を振り返り、今の自分を問い、これからの自分の生き方を考えています。練習を積むほど、三年生の口から出る言葉に重みを感じます。自己に対して真剣になってきていることが伝わってきます。進路選択、自分の道、そのための受験勉強。これらは全て、三年生それぞれの「希望」に向かっての今の生き様です。

たくさんの「希望」の中に学校生活があります。また皆さんそれぞれの心の中にも「希望」があるでしょう。

先ほど元旦の新聞広告を紹介しましたが、お正月に届く年賀状に書かれた言葉からも、「自分も今年頑張るぞ」と希望を抱くことがあります。ある教え子からの年賀状ですが、AさんとB君という夫婦からの年賀状が毎年私の元に届きます。分かりやすく、女性を「さん」、男性を「君」と呼ばさせていただきます。

以前勤務していた中学校でAさんと出会いました。いつもニコニコ笑顔を絶やさない子でした。廊下ですれ違うときも、ニコッと笑顔で会釈をしてくれる子でした。笑顔を絶やさないAさんの周りには、いつもたくさんの友達がいました。「どうやって育てたら、こんな笑顔が素敵な子になるのだろうか」「きっと幸せな家庭で、何一つ不自由なく愛情いっぱい育ててもらったんだろうな」。Aさんと校内で会う度に、そのようなことを考えていました。

Aさんは高校卒業後、B君と交際を始め、結婚することになりました。B君は私が顧問をしていた部活動で活躍した生徒でした。そのB君に2人の結婚式に招待していただきました。AさんとB君は中学校の時の同級生。友達もたくさん駆けつけ2人の結婚を祝福していました。

優しく友達や親思いの2人の結婚式は、とても和やかな素敵な式でした。式の最後に、Aさんから今まで育ててくれた親へメッセージを読むシーンがありました。結婚式の中では一番涙を誘うシーンでもありません。その時のAさんの親へのメッセージです。

「お母さん、今まで私を育ててくれてありがとうございます。私はお母さんが大好きでした。そんな大好きなお母さんが、何日も泣いていた時がありました。私が小学校5年生の時、お父さんが脳の病気で倒れ、自分の力では動けない体になってしまいました。お母さんは毎日お父さんのことが心配で、そしてどうしていいのか分からず泣いていました。私はそのお母さんの姿を見て、とっても辛かった。そしてこれ以上お母さんに心配をかけないように、絶対に泣いたり悲しい顔をしたりしないって誓いました。どんな時でも笑顔でいるってこの時決めました。」

これを聞いた時、私は後ろから頭を木の棒で思い切り殴られたかのような衝撃を受けました。私はこんな辛い思いをして、一生懸命笑顔でいようと努めている子に対して、幸せな愛情いっぱいの家庭で育ったから笑顔でいられるんだ。何一つ不自由なく育てられたから、こんなに笑顔でいられるんだ。と感じていたんです。教師失格です。Aさんの思いを少しでも分かっていたら、Aさんのことを少しでも知ろうとしていたら、と後悔しても仕切れない思いでした。こんな自分ではいけない。こんな教師ではいけない。もっともっと生徒の苦しみに寄り添える人間でなければ、と考えさせられた場面でした。

式が終わってB君のご両親とお話をしました。「先生、今日はお酒飲んでもらえなかったんですね」と言われました。実は結婚式場が、電車やバスのルートから遠く、自分の都合で車で行くことを選択したんです。本当だったらお祝いの席なので、一緒にお酒を飲んでお祝いしなければいけないのですが。お母さんが言いました。「この会場は二人で必死に探して、Aさんのお父さんも結婚式と一緒に参加できるバリアフリーの式場を見つけたんです。そして二人でAさんのお父さんを一生面倒を見ていくって決めたんですよ」と言われました。これを聞いて、自分の都合だけでお酒を飲まないことを選択した自分を恥ずかしく思いました。それと同時に、このAさんとB君の二人は、すごいなと感じました。もう自分なんかをはるかに超えているなど、二人を誇りに思いました。そしてそんな二人の教え子に出会えたこと、とても幸せなことだ

なことだなどと感謝しました。毎年お正月に二人から年賀状が届きます。年賀状を見ながら、二人の結婚式を思い出します。ここ3年ほどは、可愛い子どもの写真も増え、三人からの年賀状になりました。年賀状を見ながら、生徒からいろいろなことを教えてもらえる教師という仕事について良かったなと思います。今年もこの二人に負けないよう頑張るぞと、新たな希望に包まれます。

皆さんからも、毎回校長講話の度に一生懸命書かれた感想用紙を頂きます。ありがとうございます。読ませてもらう度に、私の中に新たな希望が湧いてきます。

今日は「希望」というテーマでお話をさせていただきました。卒業証書授与式まで、あと1ヶ月あまりとなりました。三年生は希望を胸に、新たな道に進むことができるよう、最後の中学校生活のまとめの時として下さい。一年生、二年生は、三年生への感謝の気持ちを胸に、新たな学年に希望をもって進めるよう、進級の準備をしていきましょう。一年間、ありがとうございました。

<～校長講話の感想より～>

百貨店の記事を見て、すごく感動したし、私も「希望」をもらうことができました。「希望」という言葉は、6年生の時に書いた卒業文集の題名だったことを思い出しました。みんなで話し合いをした結果「希望」という言葉に決まり、今思うと当時よりすごくいい言葉だなと強く感じました。コロナで暗い世界中「希望」というのは勇気や自信とともに前向きになれるすばらしい言葉だと改めて感じました。

私も「希望」をたくさんの人に与えたいし、この言葉でもっと明るく、平和な世界になってほしいと思いました。(1年女子)

父親が亡くなっても母のために笑顔で続けたAさんが、かっこいいし、すごいなと思った。新聞の一面のレシートの記事で浴衣があんなに売れていることに驚いた。みんなに希望をあたえられるっていいなと思った。(2年女子)

自分もいろんな人から希望をもらって生きているなと思いました。最初にレシートを見たとき、なんでこのものたちなんだろうと思ったけど、コロナで使われない物でもたくさん買ってあってすごいと思ったし、その分だけの希望があるんだなと思いました。(2年女子)

希望をテーマにお話を聞いて、最初の広告がとても印象に残りました。新型コロナウイルスで、なかなか外に出られない状態でこのような広告はとても心があたたまりました。

私たちは今、希望に向かって歩んでいる途中です。自分の希望に少しでも近づけるように日々の生活がんばっていきたいです。(3年女子)

先生の教え子のお話など、感動的なお話しでした。「希望」というのは、夢幻のようなぼんやりとしたものではなく、本当に大きな力を持つものだなと思いました。僕も受験勉強やその他何かに向かって努力する途中に、希望を失いそうになることがあります。あるいは、まさに今の自分がそうかもしれないと思いました。しかし、先生の教え子のようにポジティブに考えれば、何も希望を失うことはないと感じました。今年度最後にして、本当に希望を持たせていただくお話しでした。一年間ありがとうございました。(3年男子)

1・2月の行事より

<1月28日(木)2学年総合的な学習まとめの発表がありました。>

2年生の総合的な学習のまとめの発表が行われました。若鷹祭後の職場体験学習で感じたことや学んだことを発信してくれました。

発表でもっともよかった点は姿勢です。多分、念入りに打ち合わせやリハーサルをしてきたのでしょう。声の大きさや視線、学年全体で座ったり立ったりする動作が、やる気に満ちあふれていて、聞く側の気持ちをきちんと聞こうとさせてくれました。これは、発表原稿の隅々までみんなで理解して何を言うべきか、注意すべきかが分かっている時にこの発表するぞというやる気は表れます。最初の発表者の緊張感も伝わり、それもよかったと思います。準備がんばりましたね。

そして、発表内容ですが、職場を選んだ動機、仕事内容、そして学んだことやこれからに生かしたいことを端的にまとめてあり、9つの職場の発表があつたにも関わらず、予定時間内に発表もできました。今年度はたまたま村内の職場だったのですが、発表内容を聞くと、村のことについて新たに知ったこと、村のこれからについても考えられている人がいて、地元で働いたことで、幅広くものごとを深く考えられたのかなと思います。ご苦労様でした。



【2学年の発表の様子から】

<2月 5日(金)第4回授業参観日>

参観日では、各学年で、総合的な学習のまとめとして、学んだことをお互いに確認し合ったり、発表したりしていました。保護者のみなさんもそんな発表の様子をじっと見つめていました。

3年生のみなさんは、音楽のグループ発表でしたが、歌声やギター、ドラムの音が廊下まで響き渡り、とても迫力がありました。



【1学年】



【2学年】



【3学年】

<2月11日(木)第12回生徒会サミットへ参加しました。>

昨日は建国記念日で祝日でしたが、第12回長水生徒会サミットが行われました。例年ですと長野市役所などに集まっての会議でしたが、今年はコロナ禍のため、Zoomによるオンライン会議で行われました。

小川中学校からは、生徒会三役が代表で参加してくれました。まず、市立長野中の行っている活動紹介があり、その後、各校の特色ある生徒会活動の取組について、グループごとに話し合いました。参加校が多く、発表時間や発言の時間は限られていましたが、長水地区の仲間の活動の様子を聞き、参考になったことがあったと思います。今後の生徒会活動で、ここで得たことを活かして行ってください。



【オンラインでの交流の様子】

< 2月16日（火）ChromeBook を利用した授業への参観がありました。 >

村の議員のみなさんと北信教育事務所の先生が、みなさんの学習の様子を見に来校されました。1年生は国語で、詩についての発表でした。友だちの意見や感想も聞きながら、詩への考えを深めていました。3年生は社会で入試対策問題を一人一人が真剣に取り組んでいました。



【ChromeBook を利用している様子】

2年生は理科で、クロームブックを使い、回路の問題を各自がつくり、お互いに解き合う授業でした。議員のみなさんも、手慣れた感じで画面上に問題をつくっていく姿を見て、とても感心していました。クロームブックについては、基本操作を覚え始めた所だと思います。今後も授業で活用できるように使っていきましょう。

< 2月16日（火）特別音楽練習が始まりました。 >



【1, 2年合同練習の様子】

3年生を送る会、卒業式に向けて、朝、午後の学活の時間を使って、特別音楽練習が始まりました。この練習計画の副題には、～在校生は卒業生に、卒業生は今まで支えてくれた全ての人に感謝を込めて～と書かれています。

1, 2年生は「瑠璃色の地球」を練習しています。各パート練習を2回行った後に合同練習を行いました。3密を避けつつの練習となり、1, 2年生だけの合唱だったので、なかなか思うような合唱とはなりませんでしたが、リハーサルも含めて、合同練習は残り5回あります。卒業生が感動してくれるような曲に仕上げていきましょう。1, 2年生で力を合わせ、3年生を送る会の準備を進めてください。

< 2月24日（水）3学年総合的な学習まとめの発表がありました。 >

3年生は、2年生の時から続けてきた平和学習について、数名の代表生徒が発表してくれました。若鷹祭終了後は個人テーマを追求し、そのことを発表してくれました。多くが、太平洋戦争から終戦後の日本に焦点を絞った内容でした。GHQ とは何か、日本統治下でどのような政策を行ったのか、ポツダム宣言を原爆投下前に受け入れられなかった理由、大財閥が今も残るわけなど、かなり興味深く聞くことができました。さすがに3年生だなという発表でした。最後に平和につながる活動や今後の自分達が行っていくべきことがまとめられていました。ぜひ、この学習をこれからの生活に活かしてほしいと思います。



<2月24日(水) ピンクシャツ day>

24日は「ピンクシャツ day」この日に合わせて評議・生活委員会のみなさんを中心にピンクのシャツの型紙が昇降口に飾られました。

いつでも思いやりを忘れない、優しい人になる。いじめを見たらとめる。言葉使いに気を付ける。自分から挨拶をする。など記入されていました。どれもが学校生活を楽しく過ごすために大切なことばかりです。宣言した以上、これをきっかけとして実行していきましょう。

ピンクシャツが、皆咲(わらう)の周りを飾っているのが印象的です。



<2月25日(木)生徒総会、地区生徒会がありました。>



生徒総会が行われました。12月から2月までの約2ヶ月半の活動内容報告と、決算報告が行われ承認されました。この2ヶ月間を振り返って見ると、しめ縄作りの行事に始まって、新委員長インタビュー、Birthday board、誕生花、石紹介、ピンクシャツ day など新たな活動を企画実行したり、日常活動を工夫、改善していったりと役員のみなさん中心に委員会活動を生き生きと行ってきた感じがします。

しかし、活動報告の中には2年生だけで行ってしまった、計画していたがまだ実行できていないなどの課題も報告されています。ぜひ、時間にゆとりを持って計画し、委員全員がかかわった活動を行ってください。出来る人だけでやってしまうのではなく、うまくいなくてもみんなで行えるように活動ができてきたら目標とする一人一人が活躍する生徒会に近づくのではないのでしょうか。

【PTA 常任委員会、総役員会ありがとうございました】

2月5日(金)の参観日に併せ、PTA 常任委員会、総役員会が行われました。各専門部において、年間活動の反省、次年度への要望が検討され、総役員会で、各部の部長さんから報告が行われました。選考委員会で推薦された5名の方々が令和3年度役員として紹介されました。令和2年度の役員の皆様一年間ご苦勞様でした。令和3年度役員に紹介された皆様よろしくお願ひいたします。



【部会での様子】



【総会での各部からの報告】



【R3 役員の皆様方】

【長野県からのお知らせ】

「長野県 小・中学生限定！！家族と一緒に1日リフト券優待クーポン」が再開しました！

一時停止していた優待クーポンが再び利用できるようになりました！お早めにご利用ください！

<チケット購入・利用可能期間>2021年2月19日(金)～3月21日(日)

<クーポンコードとURL>goski002 <https://www.asoview.com/note/2666/>(購入の際、必ずご入力ください)

ひとつのアカウントで、上記期間中に1回、クーポンを適用した特別価格でのチケット購入が可能です。

小・中学生の方のチケット最低1枚を含む計5枚を半額でご購入いただけます。